

平成28年9月23日（金） 標茶町立標茶小学校 第6学年（児童数56人）

◆平成28年8月の大雨により、標茶町市街地を貫流する釧路川では標茶水位観測所にて戦後最大である昭和35年3月洪水に次ぐ2番目の水位を記録しました。多くの児童が釧路川の増水状況を経験した標茶小学校において釧路川の減災を考える防災教育を実施しました。



「大雨が降ったときにとるべき行動」について、班ごとに意見を出し合い、命を守る行動を学びました。

◆釧路川では、氾濫が発生することを前提として社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

（参考）釧路開建HP：<http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/kasen/mizubousai/index.html>

自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であり、災害対応の実務を担う釧路開発建設部では、学校教育現場における防災教育の支援を行っています。

